

# 建設厚生常任委員会所管事務調査報告書

## 1. はじめに

南海金剛駅は、急行電車や特急電車が停車する駅であり、南海沿線の各駅の中でも主要な駅として位置付けられています。

また、本市においても、市民の利用頻度が高い駅であり、昨年5月には公民連携による金剛駅前社会実験として、金剛駅周辺エリアのポテンシャルや利用者ニーズを把握することを目的に、「金剛駅前オープンテラス&マルシェ」が実施されるなど、駅前空間の有効活用に向けた取組が進められています。

しかしながら、現状においては、駅前空間としてのにぎわいの不足や、施設・周辺環境の整備不良等が散見され、地域の玄関口としての機能が十分に発揮されているとは言い難い状況にあると考えます。また、高齢者から子育て世代までの幅広い利用者に加え、障がいのある人など多様な利用者のニーズに十分に対応できていない点も多く見受けられます。

そこで、本委員会においては、本年度の所管事務調査として、本市にとって主要な駅である金剛駅を対象に、「金剛駅周辺の利便性の向上について」をテーマとして調査・検討しましたので、その結果について報告します。

## 2. 現状の把握

令和7年10月17日に、金剛駅東口および西口周辺について現地調査を行い、次のような状況が確認されました。

### (1) 施設・インフラの老朽化に関する課題

- ・駅周辺設備の老朽化が進行していること
- ・周辺道路、標識、路面標示等の劣化や損傷が進行していること

### (2) バリアフリー・利用者利便性に関する課題

- ・高齢者、障がいのある人、車椅子利用者、ベビーカー利用者等にとって、利用上の支障や不便が生じていること
- ・トイレが不足していること
- ・駅前交通広場の屋根が不足していること
- ・喫煙の煙やマナーの問題が見受けられること

- ・タクシー乗り場にベンチや日よけが不足していること

(3) 安全対策に関する課題

- ・駅周辺道路の側溝や足元の障害物、樹木の根上がりなど、危険箇所や安全対策を要する箇所が複数確認されたこと

(4) 交通機能の課題

- ・一般車両による送迎スペースが不足していること

(5) 景観・環境に関する課題

- ・植栽や景観の維持管理について、枯損や景観上の課題が見受けられること

(6) 駅前空間の活用・にぎわい創出に関する課題

- ・駅前空間が通過機能に偏り、滞留や交流を促すにぎわいが不足していること
- ・空き店舗があり、にぎわいが不足していること

3. 調査・検討結果

現地調査並びに関係資料等を踏まえ、本委員会において協議・検討を行い、金剛駅及びその周辺における課題の整理と改善に向けた意見集約を行いました。

(1) 施設・インフラの老朽化に関する課題

【現状及び課題】

- ・西口・東口の双方において、駐輪場案内、タクシー乗り場やバス案内、放置自転車禁止区域の標識等について、文字の消失や著しい劣化が多数確認された。
- ・既に役割を終えたと思われる不要な看板が撤去されずに放置されている。

(一例)



駐輪場看板の劣化



タクシー乗り場標識の劣化



自転車放置禁止区域標識の文字消失

## 【改善に向けた提案】

- ・ 駅周辺に設置されている看板や標識について総点検を行い、劣化したものの更新及び不要となった看板の撤去を計画的に実施する必要がある。

## (2) バリアフリー・利用者利便性に関する課題

### ①エレベーター・トイレ等

## 【現状及び課題】

- ・ 東口にはエレベーターが設置されておらず、車椅子利用者は駅員がエスカレーターを操作して車椅子を昇降させる対応を受ける必要がある。この対応中は他の利用者がエスカレーターを利用できなくなることから、心理的な負担を感じるとの声もあり、実際に西口のエレベーターまで迂回する事例も確認された。
- ・ 東口タクシー乗り場（待機列）にベンチが設置されておらず、高齢者や障がいのある方への配慮に欠けている。
- ・ 東口には一般に利用できるトイレが設置されておらず、利便性に欠けている。
- ・ 西口トイレは、乳幼児用ベッドの老朽化が進んでいる。

## 【改善に向けた提案】

- ・ 東口へのエレベーターの設置
- ・ 東口タクシー乗り場（待機列）へのベンチの設置
- ・ 東口トイレの新設または整備
- ・ 西口トイレの乳幼児用設備の点検及び更新

### ②西口駅前交通広場の喫煙コーナー

## 【現状及び課題】

- ・ 西口駅前交通広場に設置されている喫煙コーナーは、囲いは設けられているものの屋根がないため、風向きによっては煙がホームや階段付近まで流入する状況が確認された。また、朝夕の通勤・通学時間帯には利用が集中し、スペースに収まりきれない利用者による枠外喫煙や吸殻のポイ捨てが発生しているほか、ベンチに座って喫煙する姿もあるとの報告があった。
- ・ 高校生や児童生徒を含む多くの駅利用者が通行する動線上に位置しており、受動喫煙や環境美化の観点からも課題が大きい。

### 【改善に向けた提案】

- ・喫煙用トレーラーハウス等の本格的な整備が実現するまでの暫定的な措置として、喫煙スペースの拡張や屋根の設置など、煙の拡散防止及び利用マナーの改善につながる対策を講じるよう求める。

### ③駅前交通広場の屋根

#### 【現状及び課題】

- ・駅階段やエスカレーターからバス乗り場につながる歩行空間等に屋根がない。

### 【改善に向けた提案】

- ・連続した屋根を設置することにより、バス・タクシー利用者が雨天時においても雨に濡れることなく移動できる環境を確保する。
- ・商業施設とつながった屋根を設置することで、利便性を向上させる。

### ④駐輪場のICT化

#### 【現状及び課題】

- ・時間貸しの支払い方法が、現金、交通系ICカード（ICOCA）に限定されている。

### 【改善に向けた提案】

- ・利用者の利便性向上を図るため、クレジットカードやQRコード決済等を含む多様な決済手段を導入し、利用環境の充実を図る。

### (3) 安全対策に関する課題

#### 【現状及び課題】

- ・西口から駅南側の踏切に向かう道路において、側溝にグレーチング等の蓋が設置されていない箇所があり、歩行者にとって危険な状況が確認された。過去には視覚障がい者が溝にはまる事故も発生している。…（a）
- ・駅への近道として利用されている歩道では、飛び出しに起因する事故が多発しており、注意喚起や構造的な安全対策が不十分である。…（b）
- ・路面標示や舗装についても、「止まれ」表示や横断歩道、車椅子マークの消失、カラー舗装の剝離、点字ブロックの破損、街路樹の根上がりによる段差や歩道の障害物など、多岐にわたる不具合が確認された。



(a) 側溝の蓋がない



(b) 危険な交差点



横断歩道の白線消失



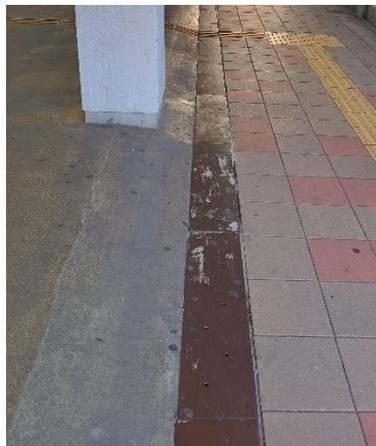
点字ブロックの浮き



ベンチ固定金具のずれ



足元の障害物



滑りやすい鉄板



滑り止め塗装の劣化

### 【改善に向けた提案】

- ・当該箇所（a）について、側溝にグレーチング等を設置するなど、安全対策を求める。
- ・当該箇所（b）について、飛び出しや出会い頭事故を防止するため、注意喚起用ミラーや標識の設置、舗装形態の工夫などの安全対策を求める。
- ・路面標示及び舗装の総点検と計画的な補修の実施、点字ブロックの修繕及び根上がりによる歩道の段差等の解消を求める。

### (4) 交通機能の課題

#### 【現状及び課題】

- ・駅利用者の送迎を目的とした一般車両が一定数見られるが、特に西口駅前には十分な送迎スペースが確保されておらず、交通混雑や安全面への影響が生じている。

### 【改善に向けた提案】

- ・駅前空間の見直しにより、短時間利用を前提とした送迎スペースを確保する。

### (5) 景観・環境管理に関する課題

#### 【現状及び課題】

- ・駅周辺の植栽について、枯損や雑草の繁茂が見受けられ、十分な維持管理が行き届いていない状況である。その結果、駅前空間として求められる景観性や快適性が低下しており、来訪者や利用者に与える印象の面でも課題となっている。



### 【改善に向けた提案】

- ・既存の植栽の見直しを行い、花壇として草花を計画的に植栽することや、剪定や除草などを定期的に行い良好な景観を保つことで、駅利用者にとって親しみやすく、滞留や回遊を促す駅前環境の形成につなげる。

## (6) 駅前空間の活用・にぎわい創出に関する課題

### 【現状及び課題】

- ・金剛駅前については、日常的な通行機能にとどまり、滞留や交流を促す空間としての活用が十分であるとは言い難く、全体としてにぎわいに欠けている状況が見受けられる。

### 【改善に向けた提案】

- ・緑地やベンチの設置など、歩行者が立ち止まって休憩する場所や人が集える場所、芝生広場の整備などを提案する。(例：大阪グラングリーン、秋田駅西口の芝生空間 等)

## 4. まとめ

今回の所管事務調査においては、本市における重要な交通結節点である南海金剛駅及びその周辺エリアを対象に、利便性や安全性の観点から現地調査及び協議・検討を行いました。その結果、周辺設備やインフラの老朽化、バリアフリー対応の不十分さ、看板や道路標示の劣化、歩行環境における安全上の課題など、日常的に駅を利用する市民にとって多くの課題が明らかとなりました。

特に、高齢者や障がいのある方、子育て世代をはじめとする多様な利用者の視点に立った場合、エレベーターやトイレといった基本的な生活動線における不便さや、歩行空間における危険箇所の存在は、早急に改善すべき課題であると考えられます。

また、喫煙コーナーのあり方や、標識・路面標示の消失・劣化といった問題についても、健康面や安全面の観点から、暫定的な対応を含め、速やかな是正が求められます。

一方で、金剛駅周辺については、昨年5月に実施された公民連携による社会実験からも明らかなように、潜在的なポテンシャルや市民ニーズを有しているエリアであり、単なる不具合の解消にとどまらず、「人が集い、滞留し、交流が生まれる駅前空間」へと展開していくことが期待されます。今後の改修や整備にあたっては、短期的な安全対策や利便性向上と合わせて、中・長期的な視点に立った駅前空間の再構築を計画的に進めていくことが重要と考えます。

以上のことから、本委員会としては、緊急性が高く、比較的短期間で対応可能な事項については速やかに改善を求めるとともに、駅施設の更新や東口周辺の再整備、

にぎわい創出に向けた空間整備等については、関係機関との連携を図りつつ、中・長期的な整備方針の策定及び具体的な計画の着実な推進を求めます。

金剛駅が、すべての市民にとって安全で使いやすく、また地域の魅力を高める拠点として機能するよう、今後の取組に本調査結果が十分に活かされることを期待し、本報告のまとめとします。

建設厚生常任委員会 所管事務調査 協議・検討状況

日 程	内 容
令和7年 8月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査テーマ及び調査内容等の検討及び決定</li> <li>・現地調査の検討</li> </ul>
10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金剛駅周辺の現地調査の実施</li> </ul>
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査に基づいた各委員からの意見・提案等の取りまとめ</li> </ul>
令和8年 2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書のとりまとめ</li> </ul>

※委員協議会での協議を含む

## 建設厚生常任委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 会 派
委 員 長	山 本 あさみ	公明党
副委員長	小 芝 英 俊	ええまち狭山
委 員	北 村 栄 司	日本共産党議員団
委 員	久 山 佳世子	公明党
委 員	西 野 滋 胤	大阪維新の会
委 員	花 田 全 史	共創みらい
委 員	松 井 康 祐	共創みらい